



〔海の状況 (11/16~12/15) 〕

- ・小川地先の表面水温… 期間を通して平年よりはなはだ高め (平年差1.5℃~)で推移した。(図1)
※平年は、神子地先の過去30年平均
- ・米ノ地先の表面水温… 期間を通して平年よりやや低め(平年差-1.0℃~-0.5℃)から平年よりやや高め (平年差0.5℃~1.0℃)で推移した。(図2)

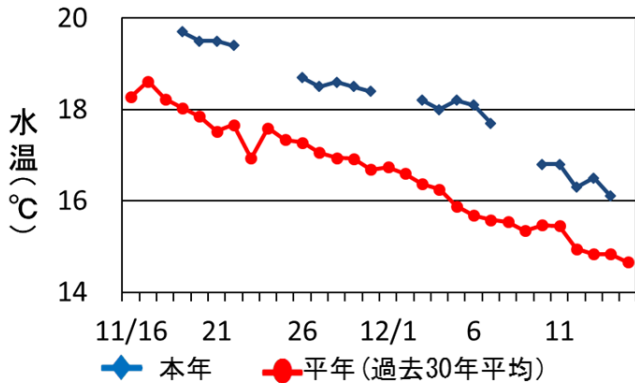


図1. 若狭町小川地先における表面水温の推移

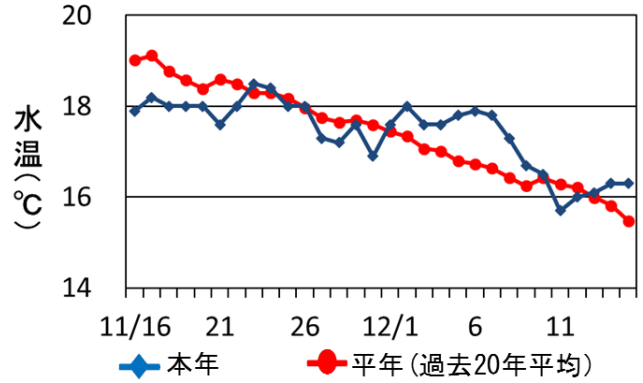


図2. 越前町米ノ地先における表面水温の推移

〔若狭湾および周辺海域の海況：11月〕

11月の若狭湾およびその周辺海域の水温分布は、表層(0m) および水深50mでは、若狭湾から富山湾まで、20℃~22℃と前年より高くなっていた。水深100mでは山陰・若狭沖の冷水域の規模は、前年より大きい、沿岸から離れていた。(図3)

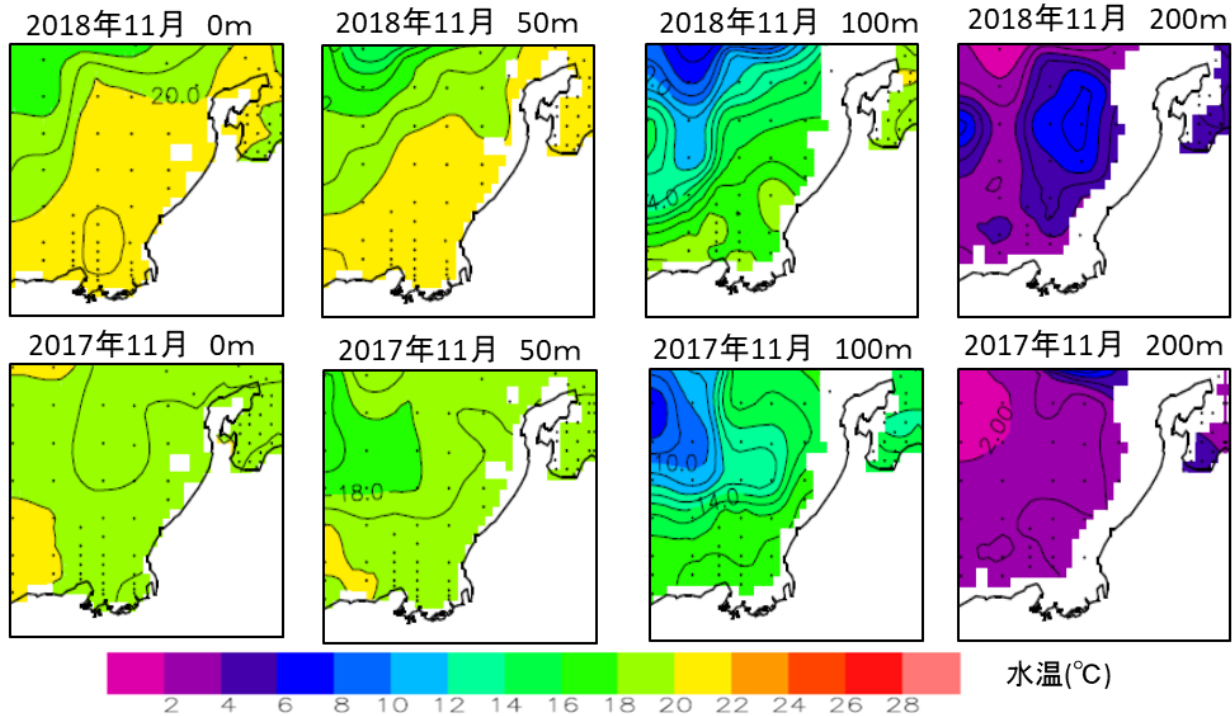


図3. 若狭湾およびその周辺海域の水温分布図 (日本海区水産研究所の日本海漁場海況速報より抜粋)

〔県内の漁模様：11月〕

2018年11月の県内の総漁獲量は855 tで、昨年同月と比べて166t上回った。

〔定置網〕

漁獲量は368 tで、昨年同月と比べて54 t上回った。ヒラマサ、シイラ、サワラ等は上回り、ウルメイワシ、ブリ類、マダイ等は下回った。

〔底びき網〕

漁獲量は417 tで、昨年同月と比べて87 t上回った。アカガレイ、ズワイガニ[オス]、ズワイガニ[メス]等は上回り、マダイ、キダイ、カマス等は下回った。

〔釣り・その他〕

漁獲量は70 tで、昨年同月と比べて24 t上回った。サワラ、ケンサキイカ、ソデイカ等は上回り、アマダイは下回った。

表. 主要魚種の漁法別漁獲量(11月)

定置網	(kg)				
魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
ウルメイワシ	4,809	18,535	4,051	-13,726	758
アジ類	27,130	26,764	62,540	366	-35,410
サバ類	10,640	1,745	8,788	8,895	1,852
カツオ類	35,965	20,838	20,580	15,128	15,385
ブリ類	12,629	90,198	132,839	-77,569	-120,209
(ブリ)	1,314	32,215	6,632	-30,901	-5,318
(ワラサ)	4,695	17,363	7,571	-12,668	-2,877
(ハマチ)	1,855	1,529	17,616	326	-15,760
(ツバス)	4,073	34,058	99,507	-29,986	-95,434
(アオコ)	693	5,034	1,512	-4,341	-820
ヒラマサ	20,953	1,013	9,122	19,940	11,831
シイラ	17,877	2,105	12,351	15,772	5,526
サワラ	133,478	66,675	164,358	66,804	-30,880
サケ、マス	991	2,844	4,860	-1,854	-3,869
マダイ	3,317	16,445	5,979	-13,128	-2,663
その他タイ	4,209	6,898	3,380	-2,689	829
スズキ	6,559	5,805	4,107	754	2,453
ヒラメ	525	2,123	1,898	-1,598	-1,373
カマス	986	2,202	12,150	-1,215	-11,163
フグ類	976	2,556	2,913	-1,579	-1,937
アオリイカ	17,237	4,827	20,053	12,410	-2,815
ケンサキイカ	3,031	198	2,179	2,833	852
ソデイカ	9,892	4,662	13,971	5,230	-4,079
その他	56,841	37,186	61,631	19,654	-4,790
合 計	368,045	313,620	547,749	54,426	-179,704

底びき網	(kg)				
魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
マダイ	1,278	2,954	1,531	-1,676	-253
キダイ	8,091	17,410	15,695	-9,319	-7,604
その他タイ	1,471	2,787	769	-1,315	702
アマダイ	742	1,802	747	-1,060	-5
ヒラメ	596	943	904	-347	-308

底びき網の続き	(kg)				
魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
アカガレイ	92,928	48,206	137,703	44,722	-44,775
その他カレイ	15,293	9,249	14,443	6,044	850
カマス	5,061	8,638	5,844	-3,577	-783
アナゴ	2,256	2,942	2,943	-686	-687
キス類	1,571	771	2,619	800	-1,048
スルメイカ	2,465	139	597	2,326	1,868
ヤリイカ	1,650	417	992	1,233	659
タコ類	3,852	2,267	4,019	1,585	-167
ズワイガニ[オス]	84,660	65,613	84,701	19,048	-41
ズワイガニ[メス]	118,368	102,762	106,564	15,606	11,804
アカエビ	31,048	28,032	20,028	3,016	11,020
その他エビ	7,252	5,576	6,915	1,676	336
その他	38,405	29,203	39,868	9,201	-1,464
合 計	416,986	329,711	446,882	87,276	-29,895

釣り、延縄、さし網、その他の漁法	(kg)				
魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
アジ類	1,832	1,967	358	-135	1,474
サワラ	2,914	352	1,879	2,563	1,035
マダイ	1,679	1,488	2,637	190	-958
キダイ	5,797	5,925	4,630	-128	1,166
アマダイ	5,808	9,388	8,314	-3,580	-2,506
メバル類	789	1,267	1,266	-478	-477
アオリイカ	772	433	1,930	339	-1,158
ケンサキイカ	9,484	630	5,120	8,854	4,364
ソデイカ	8,543	58	5,969	8,485	2,574
タコ類	3,855	1,370	2,691	2,486	1,165
その他	28,614	22,949	67,583	5,665	-38,968
合 計	70,087	45,827	102,376	24,260	-32,290

全漁法	(kg)				
魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
合 計	855,118	689,157	1,097,007	165,961	-241,889

※1 平年の値は2008-2017年の10年平均です。 ※2 ()は銘柄、その他カレイはアカガレイ以外のカレイ類、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。
 ※3ズワイガニはオス・メス・水ガニに分けて集計しています。ズワイガニ漁獲量は集計方法の違いにより福井県底曳網漁業協会と異なる場合があります。
 ※4 数値は小数点以下を四捨五入しています。

〔近隣府県の漁模様〕

(漁獲状況…石川県：11月の定置網1日あたりの漁獲量。京都府：11月にJF京都漁連舞鶴地方卸売市場へ水揚げされた定置網1日あたりの漁獲量。兵庫県：11月の余部定置網1日あたりの漁獲量。鳥取県：11月中旬～12月上旬のまき網1統あたりの漁獲量。)

石川県…定置網…サワラ類5.5 t、ブリ3.5 t、サバ類3.4 t、マアジ3.1 t、フクラギ・コゾクラ(1 kg以下のブリ)2.8 t

京都府…定置網…サワラ類7.5 t、シイラ1.6 t、カタクチイワシ1.3 t、ケンサキイカ1.1 t、アオリイカ1.0 t

兵庫県…定置網…マアジ348 kg、ウルメイワシ92 kg、スズキ49 kg、サワラ19 kg、アオリイカ11 kg

鳥取県…まき網…マサバ6.6 t、ブリ類6.5 t、マアジ2.4 t、ウルメイワシ0.9 t、マイワシ0.8 t

(漁場環境グループ 山下 慎也)

ソウシハギにご注意ください

ソウシハギ(写真1)は温暖な海域を好む魚で、福井県を含む日本海側各地でも漁獲が確認されています。ソウシハギの内臓には猛毒の「パリトキシン」が含まれており、間違えて食べると筋肉痛や呼吸困難、けいれんなどを起こすことがあり、最悪の場合は死に至ることもあります。

ソウシハギは大きな尾びれを持ち、体中にある鮮やかな青のまだら模様と黒い斑点が特徴的で、カワハギ(写真2)やウスバハギ(写真3)、ウマヅラハギ(写真4)等の一般的なカワハギ類と区別することができます。

カワハギ類を釣った場合、ソウシハギの可能性がありますので十分注意し、万が一ソウシハギだった場合は絶対に食べないでください。

(漁場環境グループ 山下 慎也)



写真1 ソウシハギ



写真2 カワハギ



写真3 ウスバハギ

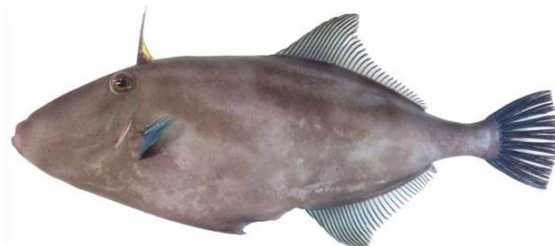


写真4 ウマヅラハギ

※写真は福井県水産試験場ホームページより引用

越前がにの漁模様

11月の「越前がに」漁模様をお知らせします。

- 期間中の操業延日数^{※1}は594日(前年:641日)で、操業隻数は70隻(前年:71隻)でした。
 - 漁獲量はズワイガニ(雄ガニ)85 t(前年:66 t 対前年比:129%)、セイコガニ(雌ガニ)118 t(前年:103 t 対前年比:115%)とズワイガニ、セイコガニともに前年を上回りました。
 - 1kgあたりの単価はズワイガニ7,529円(前年:9,003円 対前年比:84%)、セイコガニ2,507円(前年:2,846円 対前年比:88%)とズワイガニ、セイコガニともに前年を下回りました。
- 漁獲量等のデータは福井県底曳網漁業協会より提供いただきました。

※1 各漁船が期間内に操業した日数の合計

(漁業管理グループ 瀬戸 久武)